

海星だより

第7号 平成21年12月

広島県立大崎海星高等学校

<http://www.osakikaisei-h.hiroshima-c.ed.jp/>



3年生 感想

今年は高校生活最後の大きな行事ということもあって、終わった後はとても寂しい気持ちになりました。それくらい、この2日間はとても濃いものでした。1日目は、ファッションショーやコーラスなど、ステージ発表がメインでした。特にファッションショーは二部構成で、被服を選択している私はとても忙しい一日でした。リハーサルではなかなかスムーズにいかなかったけど、当日は大変盛り上がり大成功だったと思います。2日目のバザーとバンドは、とても寒い中でしたが、生徒一人一人の心は熱く、大いに楽しめました。私は1年生の時は生徒会役員、2年生の時は茶道部で、バザーに参加したことがなく、今年が最初で最後でした。こんなに楽しんでいいのか不安に思うほど楽しく、2日間は文字通りあっという間でした。3年間の中で、一番の思い出になりました。文化祭のために動いてくれた生徒会や先生、保護者そして地域の方に感謝したいです。



2年生 感想

11月14日、15日に文化祭がありました。高校生活の中で2度目の文化祭でした。去年はうどんの手伝いしかしていなかったけれど、今年はファッションショーに出ました。そのため、楽しかったファッションショーが一番心に残っています。甚平やブラウスを作る前は、きちんと形になるのか、とても不安でしたが、少しずつ形ができていくにつれ、文化祭がとても楽しみでした。リハーサルでは、昨年先輩の歩く姿に憧れていたのに、今年は私が歩いていて、とても不思議な気持ちになりました。本番、歩くときとても緊張したけれど、自分たちで一生涯作った服を、やっと着ることができて、嬉しかったです。先輩のドレス姿、とてもきれいでした。早く私もドレスを作りたいです。2日目も、とても楽しい1日でした。海星は一人一人が主役になることができ、とてもいい文化祭になったと思います。来年の最後の文化祭もいいものにしたいです。



93個のいちばんぼし

〈生徒会執行部〉

今年の文化祭は去年とは少し違う気持ちで迎えました。生徒会執行部として、行事を企画し、運営していかななくてはならなかったからです。執行部としての最初の行事が学校生活における大イベント、文化祭というのはとても不安でした。何をすればいいかわからず、イラついてしまうこともありました。迷惑をかけてしまうこともありました。学校を盛り上げていくはずの執行部がなかなかまとまらず、悩んだりもしました。行事を成功させるには、これではダメだと思い、自分が変わろうと思いました。色々な立場で物事を考えていくこと、人の気持ちを汲み取ること、その上での言葉の選び方など私が改善すべきことはたくさんあることに気がきました。本気で取り組みれば、どんなことだってやり遂げられることをこの文化祭で学ぶことができました。「とにかくみんなで楽しく！」を目標にして準備を進めました。今年は平和をテーマにした新しい企画にも挑戦し、大変なことも多かったです。何とか間に合わせることができました。1日目も2日目も、とても盛り上がりました。どちらも生徒のみんなで大変楽しめたと思います。私たちが不十分なところは、先輩方が助けて下さいました。たくさんの方に協力していただき、キラキラした2日間にすることができました。学年を越えた交流もでき、海星の絆をさらに深めることができました。海星に入学して本当に良かったです。ひとりひとりが輝ける、そんな海星に私は首っぴきです。



1年生 感想

私にとって初めての文化祭は、とても楽しい思い出になりました。私は、今回の文化祭で、1年生全員の合唱と、ソーラン踊りと英語暗唱に出ました。食品バザーではうどんを作りました。この中で特に思い出に残ったのは、英語の暗唱とうどんのバザーでした。英語の暗唱では、最初暗唱をすると決まった時、嬉しい反面不安なことばかりでした。英語の発音などひとつも分からないのに、英文を人前で発表するのは、たまたま緊張しました。そのため、上杉先生やザック先生の発音のまねを繰り返し、発表では自分なりにできたと思います。うどんのバザーでは、作り方を調べたり、どんな名前で売ると売れるかなどみんなで案を出し合ったりする時間がとても楽しかったです。文化祭当日は、だしが濃くなったり、うどんの玉が足りなくなってユアーズに友達とダッシュでとりに行ったりのハプニングもあったけれど、そんなこともひっくるめてとても楽しい思い出になったと思います。来年は今年よりも楽しくなれば良いなと思いました。